

2012年12月以降

ドアポケットに入れてお使いください

PLEO⁺_{PLUS}

クイックユーザーガイド

このクイックユーザーガイドは、運転者ならびに同乗者の方に
プレオプラスを楽しく安全にお使いいただくためのガイドです。
初めてプレオプラスに触れられるときにぜひご一読ください。



SUBARU



クイックユーザーガイドは取扱説明書の抜粋版です。必ず取扱説明書をご一読ください。

各種装備

フロントワイパー&ウォッシャー

電源が“ON”のとき使用できます。

MIST レバーを上押ししている間、ワイパーが低速作動し、手を離すと“OFF”に戻る

OFF 停止

INT 間欠作動

LO 低速作動

HI 高速作動

PULL レバーを手前に引いている間、ウォッシャー液を噴射し、ワイパーが低速作動



リヤワイパー&ウォッシャー

電源が“ON”のとき使用できます。

(レバー上側) ワイパーが作動中にウォッシャー液を噴射、連動してワイパーが低速作動

ON 約4秒間低速作動後、間欠作動

OFF 停止

(レバー下側) ウォッシャー液を噴射



セレクトレバーの操作

セレクトレバーボタン



プレーキペダルを踏みながらセレクトレバーボタンを押して動きます。
 セレクトレバーボタンを押して動きます。
 そのまま動きます。

※ **S**: 上り坂や下り坂を走行するときの位置〔前進〕
(エンジンブレーキが必要なときの位置)

※ **B**: 急な上り坂や下り坂を走行するときの位置〔前進〕
(強いエンジンブレーキが必要なときの位置)

シフトロック解除ボタン

バッテリーあがりなどで、セレクトレバーが[P]レンジからほかのレンジへ動かないときに使用します。

チルトステアリング

レバーを押し下げ、ハンドルを上下に動かし適切な位置に調整します。その状態でレバーを引き上げると固定されます。



フューエルリッドオープナーレバー

●燃料の補給

- ① エンジンは必ず止めてください。
- ② フューエルリッドオープナーレバーを引き、フューエルリッドを開けます。
- ③ フューエルキャップを左に回して開けます。
- ④ 燃料補給後は、フューエルキャップを「カチッ」という音がするまで、右に回して閉めます。
- ⑤ フューエルリッドを、ロックするまで手で押しつけて閉めます。



使用燃料
無鉛レギュラーガソリン

パワーウィンドウ

●運転席ウィンドウスイッチ(AUTO) **A**

開けるときは押し、閉めるときは引き上げます。「カチッ」と音がするまで押し下げる、または引き上げると自動作動します。

●助手席、リヤウィンドウスイッチ **B**

開けるときは押し、閉めるときは引き上げます。

●ロックスイッチ **C**

スイッチ右側(マークの付いている方)を押すと助手席と後席のウィンドウは操作できなくなります。スイッチ左側を押すと解除されます。



光軸調整ダイヤル

ダイヤルを回転させると、ヘッドランプの光軸（光の照らす方向）が上下に変わります。ダイヤルの数字が大きいくほど下向きになります。
（通常はダイヤル「0」の位置で使用）



ライティングスイッチ

- 下記 ①②に加えてヘッドランプが点灯
- 車幅灯、尾灯、番号灯が点灯
- OFF** 消灯



- ヘッドランプの上下を切り替える
レバーを前に押すと上向き、元に戻ると下向きになります。
- パッシング
レバーを手前に引いている間、ヘッドランプが上向きに点灯します。

車から離れるときは、バッテリーあがりをふせぐため、必ずライティングスイッチを“OFF”にしてください。

方向指示レバー

「アイドリングストップ※」OFF スイッチ

アイドリングストップ機能を停止したいときに押します。
詳細は 6 ページ参照。

※本書では eco IDLE を「アイドリングストップ」と表記しています。



VDC&TRC OFF スイッチ ●●

VDC や TRC が適さない場合（新雪路、深雪路、砂地等からの脱出）に、使用します。

●VDC と TRC を OFF にする場合

VDC&TRC OFF スイッチを3秒以上押すと VDC (TRC を含む) が“OFF”になり、メーター内の TRC OFF 表示灯と VDC OFF 表示灯が点灯します。作動可能状態にするときは、スイッチをもう一度押してください。



●TRC を OFF にする場合

VDC&TRC OFF スイッチを押すと TRC が“OFF”になり、メーター内の TRC OFF 表示灯が点灯します。作動可能状態にするときは、スイッチをもう一度押してください。

電動格納式ドアミラー ●●

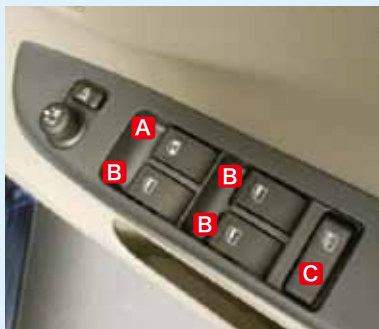
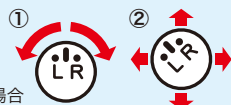
●ミラー格納スイッチ A

スイッチを押すとミラーが格納され、もう一度押すと元に戻ります。

●角度調整 B

- ① ノブを調整する側にまわします。
- ② ノブを動かして、ミラーの角度を調整します。

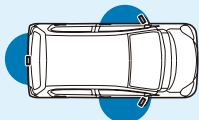
※イラストは L 側（助手席側）を調整する場合



ドアの施錠・解錠

●キーレスアクセス

アクセスキーを所持して作動範囲内に入り、フロントドアハンドル、またはリヤゲートハンドル下側のスイッチを押すと、すべてのドアが施錠・解錠されます。



● --- 作動範囲

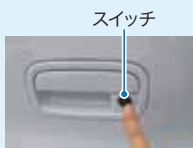
各フロントドアハンドルおよびリヤゲートハンドルから周囲約80cm以内



アクセスキー



フロントドア

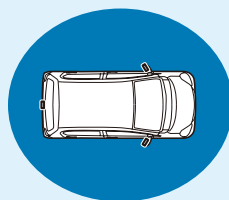


リヤゲート

●電波式リモコンドアロック

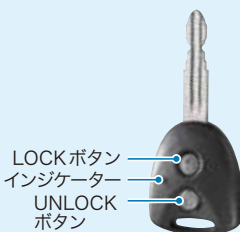
ドアが施錠された状態で、“UNLOCK” ボタンを押すと、インジケーターが1回点滅し、すべてのドアが解錠されます。

“LOCK” ボタンを押すとインジケーターが1回点滅し、すべてのドアが施錠されます。



● --- 作動範囲

車両中心から周囲約3m以内



リモコンキー



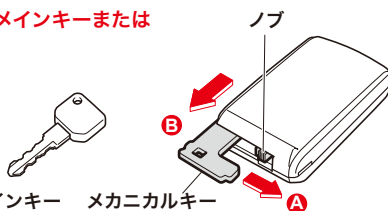
アクセスキー

- ・心臓ペースメーカーなど医療用電気機器に影響を及ぼす恐れがあります。詳しくは、取扱説明書をご覧ください。
- ・強い電波ノイズがあるときや、アクセスキーの電池残量が少なくなったときは、アクセスキーで操作できないことがあります。

電池の消耗などによりアクセスキーが使用できない場合は、メインキーまたはメカニカルキーを使用してドアの施錠・解錠をしてください。

●メカニカルキーの取り出し方

アクセスキーのノブを矢印の方向(A)にスライドさせたまま、アクセスキーから、メカニカルキーのフック部を引いて取り出します。(B)



メインキー メカニカルキー

- ・盗難警報装置がセットされている場合、アクセスキー以外でドアを解錠してドアを開けると、警報が作動します。下記の方法で警報を停止してください。

●警報の止め方

- ①ブレーキペダルをしっかりと踏みます。
- ②ブレーキペダルを踏んだまま、キーをプッシュエンジンスイッチに接触させます。
アクセスキーの場合は、裏面のスバルマークをプッシュエンジンスイッチの中心に接触させます。
キーが認識されると、警報は停止します。



メインキー



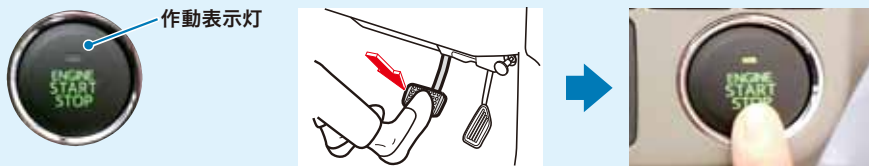
アクセスキー

プッシュエンジンスイッチ

アクセスキーを所持してブレーキペダルを踏み、プッシュエンジンスイッチを押すとエンジンの始動およびプッシュエンジンスイッチの切り替えができます。

エンジンの始動

- ①アクセスキーを携帯して運転席に座ります。
- ②ブレーキペダルをしっかりと踏みます。(作動表示灯が緑色に点灯)
- ③ブレーキペダルを踏んだまま、プッシュエンジンスイッチを押すと、エンジンが始動します。(作動表示灯が消灯)



エンジンの停止

- ①車両を完全に停止させ、セレクトレバーを[P]レンジにします。
- ②プッシュエンジンスイッチを押すと、エンジンが停止します。

- ・セレクトレバーが[P]レンジ以外でエンジンを停止すると、電源が“ACC”になります。電源を“OFF”にするときはセレクトレバーを[P]レンジにしてください。
- ・走行中にプッシュエンジンスイッチを「3秒以上押し続ける」「3回以上連打する」とエンジンが停止します。緊急時以外は本操作をしないでください。

プッシュエンジンスイッチの切り替え

- ①アクセスキーを携帯して運転席に座ります。
- ②ブレーキペダルを踏まずにプッシュエンジンスイッチを押すと、プッシュエンジンスイッチの状態が切り替わります。



●作動表示灯が点滅しているときは…

	橙色点滅 システム異常が考えられます。ただちにスバル販売店にご連絡ください。
	緑色点滅 ハンドルロックが未解除のため、エンジンの始動ができません。ハンドルを左右に動かしながら、もう一度エンジンの始動操作をしてください。

電池の消耗などによりアクセスキーが使用できない場合のエンジンのかけかた

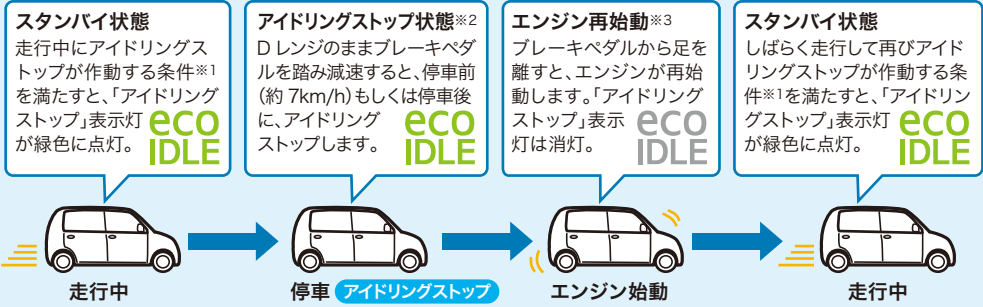
- ①セレクトレバーが[P]レンジにあるのを確認し、ブレーキペダルをしっかりと踏みます。
- ②ブレーキペダルを踏んだまま、キーをプッシュエンジンスイッチに接触させます。
 - ・アクセスキーは、裏面のスバルマークをスイッチの中心に接触させます。
- ③キーが認識されると「ピー」という音が鳴り、スイッチの作動表示灯が緑色に点灯します。
- ④キーの認識後、約4秒以内にプッシュエンジンスイッチを押すと、エンジンが始動します。



アイドリングストップシステム

「アイドリングストップ」は、エンジン暖機後に信号待ちや渋滞などで減速した際、停車前(車速約 7km/h)もしくは停車後に、燃費向上や排気ガス低減、アイドリング騒音低減のため、自動でエンジンを停止(アイドリングストップ)、再始動させるシステムです。

アイドリングストップ、エンジンの再始動



●坂道でのアイドリングストップ

坂道でアイドリングストップした場合、ヒルスタートアシストが作動します。
ヒルスタートアシストとは、アイドリングストップからブレーキペダルをゆるめてエンジンが再始動する際、最長約 2 秒間ブレーキ力を保持するシステムです。エンジンが再始動する際、坂道発進時の後退を軽減します。
(停車中はブレーキペダルをしっかりと踏み続けてください。)

●「アイドリングストップ」表示灯／警告灯

表示灯／警告灯の状態		点灯／点滅条件
 緑色点灯		・電源を“ON”にしたとき(数秒後に消灯) ・アイドリングストップが作動可能な条件※1を満たしたとき ・アイドリングストップ中
 緑色高速点滅		・アイドリングストップ中に、運転席シートベルトを外したとき(警告ブザー吹鳴) ・アイドリングストップ中に、運転席ドアまたはボンネットを開けたとき(警告ブザー吹鳴)
 緑色低速点滅		・アイドリングストップ中に、アイドリングストップが作動可能な条件※1を満たさなくなり、エンジンが再始動したとき(数秒後に消灯)
 橙色点灯		・「アイドリングストップ」OFF スイッチでシステムを停止したとき
 橙色点滅		・アイドリングストップシステム異常 ・エンジン部品(スターター)やバッテリーが交換時期のとき ⇒スバル販売店で点検を受けてください。
 消灯		・アイドリングストップが作動可能な条件※1を満たしていないとき ・アイドリングストップからエンジンが再始動したとき

「アイドリングストップ」OFF スイッチ

アイドリングストップ機能を停止したいときに、スイッチを押します。“OFF”にすると、メーター内の「アイドリングストップ」表示灯が橙色に点灯します。



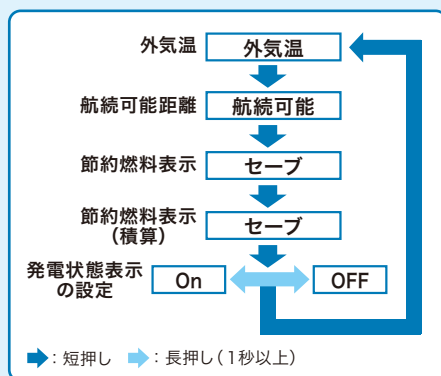
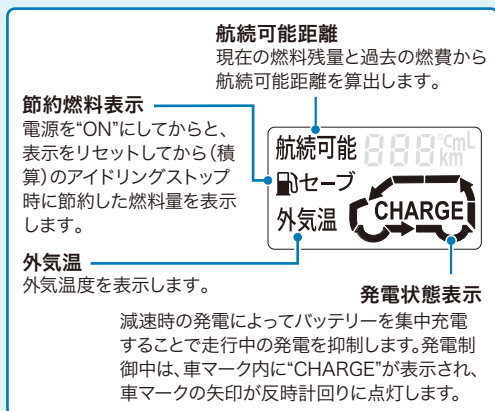
- ※ : 本書では eco IDLE を「アイドリングストップ」と表記しています。
- ※1 : アイドリングストップが作動可能な条件の詳細は、取扱説明書を参照してください。
- ※2 : アイドリングストップ中の操作については、取扱説明書を参照してください。
- ※3 : エンジン再始動条件の詳細は、取扱説明書を参照してください。

エコドライブアシスト

メーター内のエコドライブアシストディスプレイとエコドライブアシスト照明で、運転者にエコな運転（二酸化炭素排出量の少ない環境にやさしい運転）をうながします。

エコドライブアシストディスプレイ

電源が“ON”のとき、メーター内のディスプレイ表示切り替えスイッチを押すごとに、表示を切り替えることができます。



ディスプレイ表示切り替えスイッチ

エコドライブアシスト照明

エコドライブアシストの設定が“ILL On”のときに、走行状態に応じてエコ運転（二酸化炭素排出量の少ない環境にやさしい運転）の度合いを判定し、エコドライブアシスト照明が変化します。

〈エコドライブアシストディスプレイ装着車〉



エコドライブアシスト照明

〈エコドライブアシストディスプレイ装着車以外〉



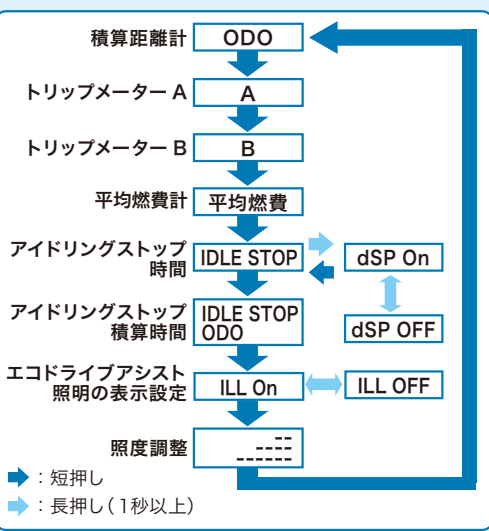
エコドライブアシスト照明

エコ運転 度合	照明色			エコ運転 度合
	青色	水色	緑色	
低				高

エコ運転 度合	照明色			エコ運転 度合
	橙色	黄色	緑色	
低				高

オドメーター/トリップメーター/マルチインフォメーションディスプレイ

電源が“ON”のとき、メーター内のオド/トリップ表示切り替え・リセットスイッチを押すごとに、表示を切り替えることができます。



シートの調整

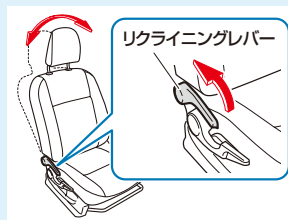
●前後位置の調整(前席)

シート下のスライドレバーを引き上げながら、前後にシートをスライドします。



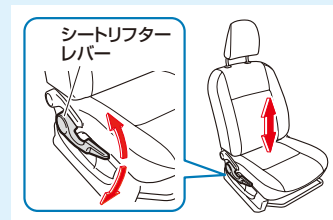
●リクライニング調整(前席)

リクライニングレバーを引き上げながら背当ての角度を調整します。



●高さの調整(運転席のみ)

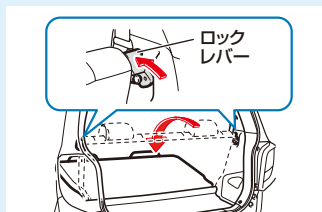
シートリフターレバーを引き上げることによりシート全体が上昇し、押し下げることにシート全体が下降します。



●背当ての前倒し(後席)

リヤシートを操作して、カーゴルームを広くすることができます。

- ①かみ込み防止のため、格納ホルダーにシートベルトをかけます。
- ②車両後側から左右両側のロックレバーを同時に操作して背当てを前に倒します。



●ソフトフラットシートにする

フロントシートのヘッドレストを外しスライドさせて倒すことによりフラットシートにアレンジできます。



エアコンの操作

オートエアコン ●● コントロールパネルを操作して、室内の冷暖房、除湿、曇り取りなどができます。

A/C スイッチ

冷房、除湿機能を作動・停止します。

表示部

設定温度や風量を表示します。

AUTO スイッチ

吹き出し口、風量、および内外気の切り替えを自動的に調整します。

風量調整(ファン)スイッチ

吹き出し口からの風の強さを調整します。風量は表示部に表示されます。

▲：風量を強くする
▼：風量を弱くする

フロントデフロスタースイッチ

フロントガラスの曇りを取ります。スイッチを押すと、自動的にエアコンが作動し、吹き出し口が切り替わります。同時に内外気切り替えが“外気導入”になります。

リヤウィンドウデフォグガースイッチ

リヤウィンドウガラス、ドアミラー※の曇りを取ります。
※電動格納式ヒータードアミラー装着車の場合

スイッチの作動表示灯：

点灯：作動中
消灯：作動停止中

MODE(吹き出し口切り替え用)スイッチ

吹き出し口を選択します。選択された吹き出し口がスイッチに表示されます。

OFF スイッチ

空調機能を停止します。

温度調整スイッチ

室内の設定温度を調整します。設定温度は表示部に表示されます。

▲：温度を高くする
▼：温度を低くする

内外気切り替えスイッチ

内気循環、外気導入を切り替えます。通常は“外気導入”でお使いください。

スイッチの作動表示灯：

点灯：内気循環
消灯：外気導入



マニュアルエアコン ●● コントロールパネルを操作して、室内の冷暖房、除湿、曇り取りなどができます。

温度調整レバー

レバーを左右に動かして、風の吹き出し温度を調整します。

吹き出し口切り替えダイヤル

ダイヤルを回して吹き出し口を選択します。

A/C スイッチ

冷房、除湿機能を作動・停止します。

風量調整ダイヤル

吹き出し口からの風の強さを切り替えます。(4段階)

内外気切り替えレバー

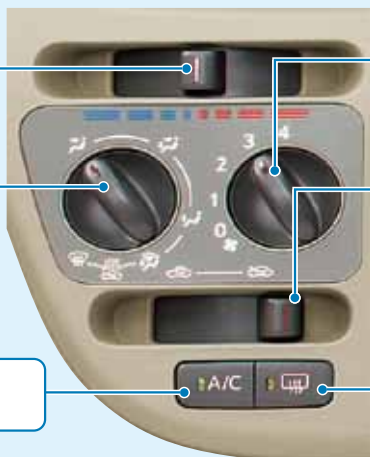
内気循環、外気導入の切り替えをします。通常は“外気導入”でお使いください。

リヤウィンドウデフォグガースイッチ

リヤウィンドウガラス、ドアミラー※の曇りを取ります。
※電動格納式ヒータードアミラー装着車の場合

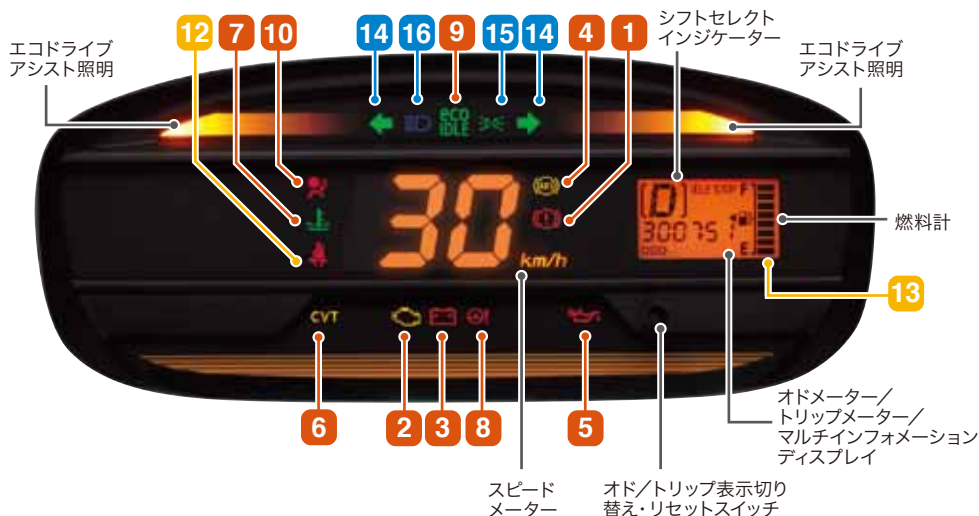
スイッチの作動表示灯：

点灯：作動中
消灯：作動停止中



表示灯・警告灯

〈エコドライブアシストディスプレイ装着車以外〉



1 ブレーキ警告灯



駐車ブレーキが解除されていないとき、ブレーキ液の液量不足、EBD 制御の異常時に点灯。

2 エンジン警告灯



エンジン電子制御システムに異常があるとき点灯、または点滅。

3 チャージ警告灯



充電系統に異常 (ベルトののび、損傷など) があるとき点灯。

7 水温警告灯/水温表示灯



警告灯 (赤色)： エンジン冷却水温が異常に高くなると点滅、その後さらに高くなると点灯。
表示灯 (緑色)： エンジン冷却水が低いとき点灯。適温時消灯。

8 ステアリング制御警告灯



電動パワーステアリングシステムに異常があるとき点灯。

11 VDC&TRC警告灯/ VDC作動表示灯



警告灯： VDC、TRC システムに異常があるとき点灯。
表示灯： VDC、TRC が作動しているとき点滅。

12 シートベルト警告灯 (運転席)



運転席シートベルト未着用時に点滅。

15 ライティングスイッチ表示灯



車幅灯が点灯しているときに点灯。

16 ハイビーム/パッシング表示灯



ヘッドランプが上向きするとき点灯。

17 セキュリティ表示灯



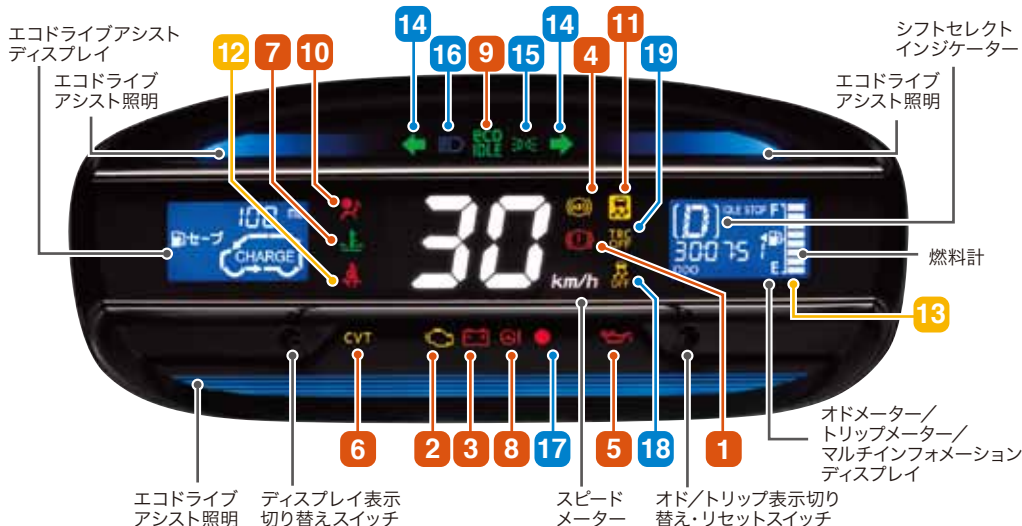
盗難防止機能がはたらいているとき点灯・点滅。

1～11 異常時に点灯/点滅。取扱説明書を確認の上、お近くのスバル販売店へご相談ください。

12～13 取扱説明書記載の正しい対応方法に従ってください。

14～19 各装置の状態を示します。

〈エコドライブアシストディスプレイ装着車〉



4 ABS警告灯



アンチロックブレーキシステム (ABS) 異常時に点灯。

5 オイルプレッシャー警告灯



エンジンオイルの圧力に異常があるとき点灯。

6 CVT警告灯



CVT システムに異常があると点灯、または点滅。

9 「アイドリングストップ」警告灯/表示灯



アイドリングストップシステムに異常があるとき橙色に点滅。
表示灯についての詳細は P.6 参照。

10 SRSエアバッグ警告灯



エアバッグシステム、シートベルトプリテンショナーに異常があるとき点灯。

13 燃料残量警告灯



燃料残量 2WD 車は約 6ℓ、AWD 車は約 5.5ℓ 以下になると燃料計一番下の目盛りと左のマークが点滅。

14 方向指示器表示灯



方向指示灯と同じように点滅。非常点滅灯スイッチを押すと左右同時に点滅。電球が切れたときは点滅速度が速くなる。

18 VDC OFF表示灯



VDC&TRC OFF スwitchを3秒以上長押しして VDC (TRC 含む) が作動停止したとき点灯。

19 TRC OFF表示灯



VDC&TRC OFF スwitchを押して TRC が作動停止したとき点灯。

※すべてのメーターの明るさは調整ができます。詳しくは取扱説明書をご覧ください。

※エンジン始動直後は自己診断のため数秒間点灯するものがあります。

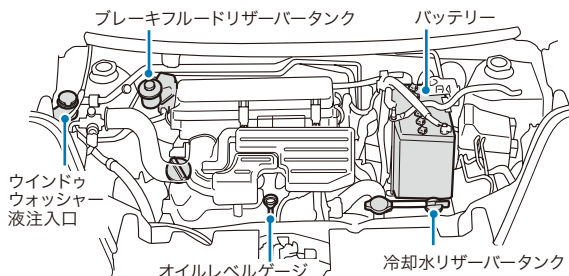
日常点検／困ったときは

★詳しくはメンテナンスノート、取扱説明書をご覧ください。

日常点検とは、日頃ドライバー自身の責任で行うように法律で義務づけられた点検です。
安全に走行するために大切な項目ばかりですので、日常点検を実施するように心掛けてください。

点検方法についてはメンテナンスノート 3章をお読みください。

■エンジンルーム内 ●下記の項目の内容量を点検してください。



■車のまわり

- タイヤの空気圧／き裂、損傷、異常摩耗がないか／溝の深さを点検します。
- 各ランプ、方向指示器を作動させ、状態を点検します。レンズの汚れ、損傷も点検します。

 4輪とも必ず、指定サイズ、同一サイズ、同一メーカー、同一銘柄および同一レッドパターン（溝模様）のタイヤを装着してください。4輪とも同じタイヤを使用しないと、駆動システムを損傷したり、最悪の場合火災に至る可能性があります。

■運転席に座って

- エンジンのかかり具合、異音の有無を点検します。
- ブレーキペダルの踏みしろを点検します。
- ウインドウウォッシャーの噴射状態を点検します。
- ワイパーの払拭状態の点検をします。

■走行して

- ブレーキのきき具合を点検します。
- エンジンの低速および加速状態を点検します。
- 運行において異常が認められた箇所を点検します。

困ったときは

取扱説明書の「いざというときに」を参照してください。取扱説明書に記載がある方法で対処しても作動しない、改善しないときは、スバル販売店にご連絡ください。

※「TRC」はトヨタ自動車株式会社の登録商標です。「ECO IDLE」はダイハツ工業株式会社の登録商標です。当社は使用許諾に基づき使用しております。

※本文中の写真は実物とは異なる場合があります。

お問い合わせ、ご相談はお近くのスバル販売店、または下記の窓口へお願いいたします。

SUBARUコール  **0120-052215**

受付時間 【平日】 9:00～17:00
【土日祝】 9:00～12:00、13:00～17:00

※平日の12:00～13:00および土日祝は(1)のインフォメーションサービスのみとなります。

SUBARUお客様センター

富士重工業株式会社

〒160-8316 新宿区西新宿1-7-2 (スバルビル)

SUBARUお客様センターでは下記の内容を承っております。

- (1) ご意見／ご感想／ご案内(カタログ、販売店、転居お手續 他)
- (2) お問い合わせ／ご相談

お問い合わせ先スバル販売店

●スバル最新情報をインターネットで。 www.subaru.jp

Publication No. F5720JJ-B

発行 2013年6月 Printed in Japan KB

富士重工業株式会社 スバルカスタマーセンター